

令和 7 年度となり、本校 S S H の取り組みは 2 年目に突入しました。
新しいプロジェクトを立案して実施していく予定です。

「アースデイ in 三徳山」

4 月 16 日（水）、中学 3 年生が三徳山の「山護（やまもり）運動」に参加しました。この活動は、地球の環境について考える 4 月 22 日の「アースデイ」に合わせて、日本遺産である三徳山の修験道の修復作業、周囲の清掃・整備などを行うものです。

最初に小さな麻袋に土を入れ、1 個約 800 g の土嚢を作った後、1 人あたり 5 ～ 6 個の土嚢をリュックに入れ三徳山中腹を目指しました。難所のカズラ坂では、足元に注意しながら、無事全員が登りきることができました。

また、境内清掃を行ったり、座禅体験として座り方や呼吸法などを丁寧に教わりました。非日常的な空間で、心を落ち着かせて座禅することができ「六根清浄」を体験した 1 日となりました。倉吉ロータリークラブの皆様をはじめ、関係者の皆様にお礼申し上げます。



「中 2 環境保全授業」

6 月 30 日（月）、中学 2 年生は SSH 学校設定「環境 SE-A（サイエンスエデュケーションエー）」という授業において、絶滅危惧種について学びました。NPO 法人日本野鳥の会鳥取県支部ならびに公益財団法人中海水鳥国際交流基金財団米子水鳥公園のスタッフの方々のサポートを受けて、国のレッドリスト絶滅危惧Ⅱ類に登録されている「コアジサシ」について実地研修を実施しました。

はじめに行った、絶滅危惧種やコアジサシについての特別授業を通して、絶滅危惧種に関する問題は自分たちとは関係ない遠い世界の話ではなく、一人ひとりが問題意識を持つ必要があることを生徒たちは意識できたようです。その後、天神川河口付近へ移動し現地研修を行いました。双眼鏡を通してコアジサシを実際に観察したことで、地元の環境を自分たちで守る必要があることを、身をもって感じたようです。

生徒からは、「絶滅危惧種は意外と近くにいる」、「保護には地元の理解が必要」といった感想があり、環境保全に対する意識の向上がうかがえました。

